

大規模盛土造成地マップの公表について

1. 背 景

平成 7 年の阪神・淡路大震災、平成 16 年の新潟中越地震、平成 23 年の東日本大震災では、大規模に谷や沢を埋めた造成地や斜面に腹付けした造成地において、盛土部分全体が滑り落ちる「滑動崩落」が発生し、多くの宅地に甚大な被害が発生しています。

県では、平成 22 年度から既存の大規模な盛土造成地について、国のガイドラインに基づき調査を実施してきたところです。

2. 公表の目的

大規模盛土造成地の存在を公表することにより、地域住民の皆様の方の防災意識を高めていただいたり、市町の防災計画等に反映していただくことにより、災害の未然防止や被害の軽減につなげることをねらいとしています。

3. これまでの対応

平成 22 年度～25 年度

- ・国土交通省の「変動予測調査ガイドライン」に基づき、大規模な宅地造成の区域調査を実施。

県内（中核市の大津市を除く）で 250 箇所を抽出。

平成 26 年度・27 年度

- ・調査方法、公表等について専門的な知見、市町の意見を反映するために「滋賀県宅地耐震化推進事業検討会議」を設置。
- ・造成年度等から調査箇所を 59 箇所に絞り込み、簡易ボーリングによる盛土形状の把握調査を実施。

詳細調査が必要な箇所を 4 箇所に絞り込む。

平成 28 年度

- ・4 箇所の地下水位調査と土質ボーリング調査を実施。
大規模な「滑動崩落」の危険性がないことを確認。

4. 公表する内容と公表の方法

公表の内容は別紙のとおり。

- ・滋賀県土木交通部住宅課のウェブサイトにて公表。

アドレス <http://www.pref.shiga.lg.jp/h/jutaku/index.html>

- ・市町単位（甲賀市は3分割）で、1 : 40,000 の表示スケール地図により公表
※大津市は、昨年度末に公表済み。（113箇所）

5. これからのスケジュール

- 2月8日 県民生活・土木交通常任委員会
- 2月中 詳細調査を行った自治会へ調査結果の説明
- 3月上旬 マップの公表

参考資料

大規模盛土造成地抽出結果

市町名	箇所数
彦根市	1
草津市	12
栗東市	19
甲賀市	125
湖南市	34
東近江市	5
日野町	36
竜王町	15
甲良町	2
多賀町	1
合計	250

対象区域のない市町
長浜市
近江八幡市
守山市
野洲市
高島市
米原市
愛荘町
豊郷町